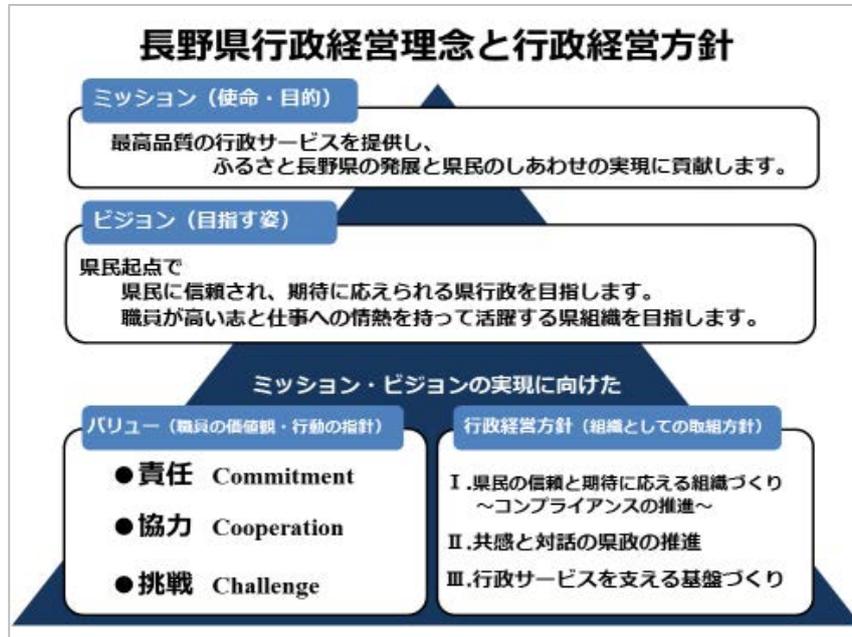


第7編

政策力を高める学ぶ県組織への転換

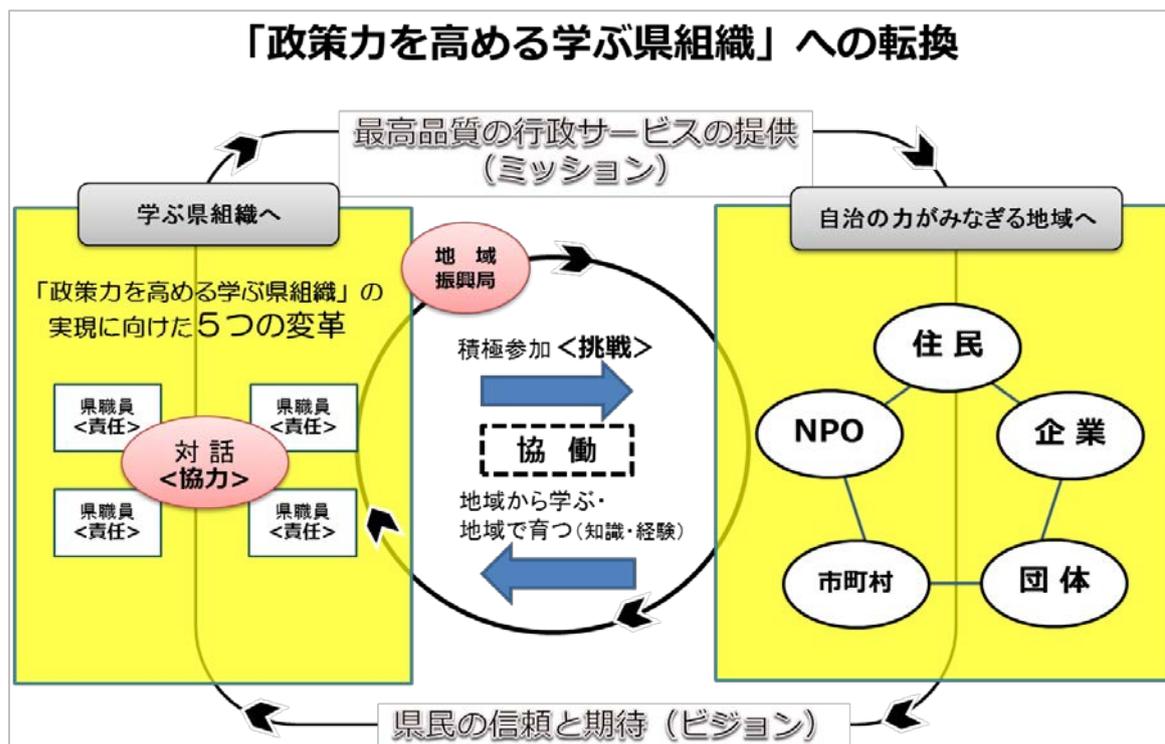
長野県行政は、「最高品質の行政サービスを提供し、ふるさと長野県の発展と県民のしあわせの実現に貢献すること」を使命とし、「県民に信頼され、期待に応えられる県行政」、「すべての職員が県民起点で高い志と仕事への情熱をもって活躍する県組織」を目指します。

そして、職員一人ひとりが、あらゆる場面で、「責任」、「協力」、「挑戦」を強く意識しながら、県民起点で県行政に取り組みます。



また、私たちを取り巻く環境が大きく加速度的に変化する中であって、県民の皆様により質の高いサービスを提供し続けるためには、「組織を変えていく」という覚悟が必要です。

組織全体で行政経営理念・行政経営方針に徹底して取り組むとともに、社会や地域に常に関心を持ち、県民の皆様と対話しながら、自ら積極的に学び、自己の能力を高めていく姿勢を持つ職員が活躍する「政策力を高める学ぶ県組織」に変えていきます。



「政策力を高める学ぶ県組織」の実現に向けた5つの変革

変革1 : 情報のアンテナを高く張る

- 共感と対話の県政を基本とし、様々な課題について県民とともに考え、主体的・積極的に行動します。
- 固定観念にとらわれず、柔軟な発想で業務に当たるべく、国や他県の動向をはじめ、社会の変化を速やかにキャッチし、政策に活かします。

変革2 : 県民の取組を支援する

- 県民の皆様を始め、市町村や民間企業・大学・NPO法人など、多様な主体との連携・協働によりオール信州で取り組みます。
- 10の広域圏や県といった行政圏域を越えた連携を強め、より効果的・効率的な施策を推進します。

変革3 : 組織の壁を越えて協働する

- 組織内の縦のつながりに加え、部局を越えた横のつながりを重視します。
特に、チャレンジプロジェクトにおいては、プロジェクトリーダーが部局・職位に関わらず必要に応じてメンバーを選定した上でチームを編制し、実効性の高い施策を構築します。

変革4 : 県組織のスキルを高める

- 研修会・勉強会や地域活動等あらゆる機会を捉えて積極的・主体的に参加する、学ぶ意欲のある職員を育成し、評価します。
- 政策形成過程においては、まず現状や課題を的確に捉えるとともに、大学等と連携して、AI*（人工知能）などの先進技術を用いた将来推計手法を研究するなど、中長期的な視点で県民負担の軽減につながる施策を構築します。

変革5 : 持続可能な財政構造をつくる

- 徹底した事務事業のスクラップ&ビルドや組織のスリム化、職員数・総人件費の適正化を行います。
- 経営的視点に基づいた公共施設等のマネジメントにより、県有財産の総量縮小や施設の長寿命化、市町村・民間等と連携した物件情報の集約・発信、柔軟な貸付などシェアリングによる県有財産の有効活用に取り組みます。